

本人・家族のACPを推進するACP「もしもメモ」の啓発について

1、目的

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、人生の最終段階で受ける医療やケアなどについて、患者本人と家族などの身近な人、医療従事者などが事前に繰り返し話し合う取り組みのことです。しかし、ACPの話し合いのタイミングが難しいという声をよく耳にします。そこでこの「もしもメモ」を、もしものときに備えたり、緊急時の対応やAシートにおけるACPの話し合いなどに活用ください。入退院時やサービス担当者会議の際などに療養や治療方針に関する希望を聞いて本人・家族、支援者間で情報共有を図り、もしものときに備えます。気持ちは変化し、希望も変わることがあるので、サービス担当者会議等、話し合いのたびに本人・家族へ意思の確認をして更新をお願いします。

2、記入方法

ACP 「もしもメモ」 島原市在宅医療・介護相談センター発行

氏名 ()

記入日(更新日) 年 月 日

◆話し合った人

わたし 家族 ()
介護支援専門員 ()
サビズ事業所 ()
医療機関 ()
その他 ()

◆自分以外の誰かが判断をしなくてはいけない場合、意見を尊重してほしい人

名前 () 続柄 ()

連絡先 ()

介護の希望

◆どこで介護をしてほしいですか

できるだけ自宅を希望する
施設や病院に入りたい
家族・親族の判断にまかせる
その他 ()

◆誰に介護してほしいですか

できるだけ家族にまかせたい
ヘルパーなど介護の専門家にまかせたい
家族・親族の判断にまかせる
その他 ()

◆最期を過ごす場所はどこがいいですか

自宅 病院 ()
介護施設など ()
まだ決められない
その他 ()

・氏名は本人の氏名を記入ください

・本人・家族・支援者で話し合いながら内容に沿ってチェックをお願いします。

・その他の内容は自由記載です

・この「もしもメモ」は島原市の終活ノートの医療・介護の部分を集約しております。

ぜひ、終活ノートも活用ください

医療の希望

◆病名と余命の告知について

病名も余命も知りたい
病名だけは知りたい
余命だけ知りたい
病名も余命も知りたくない

◆延命治療についての希望

最期まで、できる限りの延命治療をしてほしい
苦痛を和らげる治療を優先してほしい
回復の見込みがないのであれば、延命治療は希望しない
家族の判断に任せる

◆生命維持が困難な状態となった時の処置について

心臓マッサージなど 希望する 希望しない わからない
 気管挿管や人工呼吸器 希望する 希望しない わからない
 胃ろう・経鼻栄養 希望する 希望しない わからない
 点滴治療 希望する 希望しない わからない
 透析治療 希望する 希望しない わからない

◆その他わたしの介護や医療について記しておきたいこと・ご家族の意向など

例えば
 「トイレに行ける間は家で過ごしたい」
 「もしもの時でも救急車は呼ばないでほしい」
 「私たちのことを私たち抜きで決めないで」
 など



3、保管方法

普段使用しているお薬手帳等に添付またはカバーに挟んで保管。

* 「つながるメモ」があれば重ねて保管下さい。

お問合せ先：島原市在宅医療・介護相談センター（65-5110）



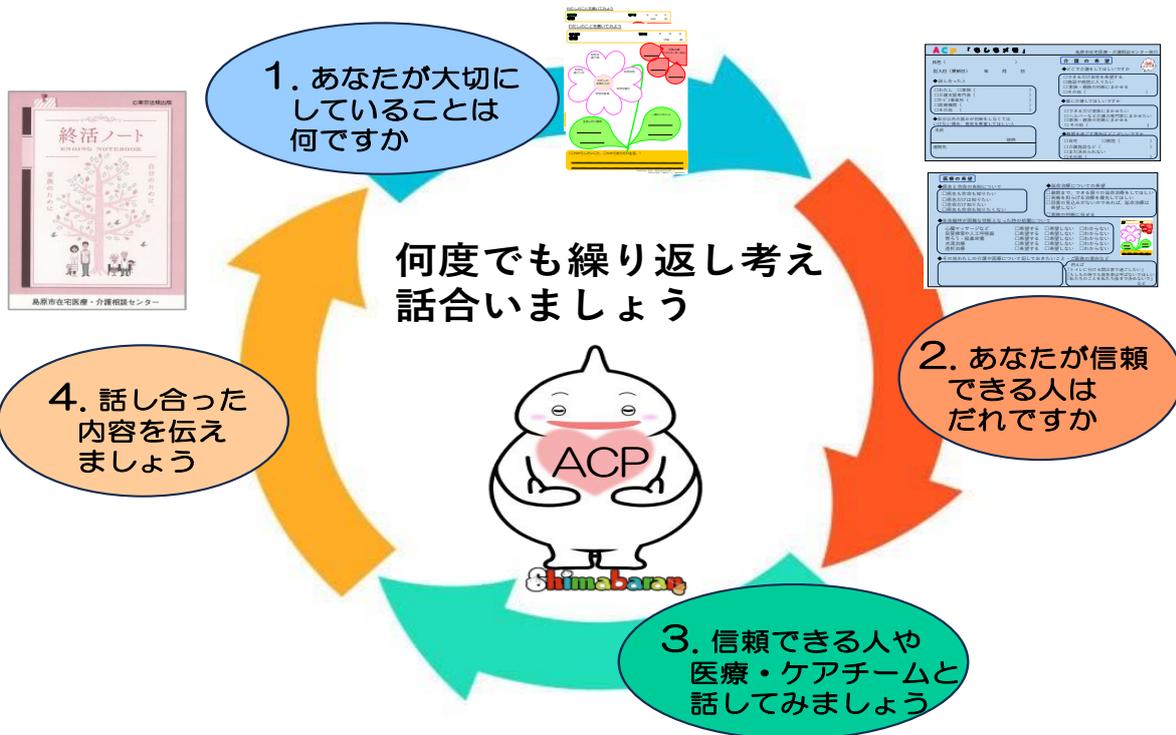
自分の思いを話し合うACP「もしもメモ」

「もしものときに、どうしたいか」は、
変わっていくことがあります。

人生会議 **A C P** アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning)

あなたが大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを、自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人と共有しておくことをアドバンス・ケア・プランニング (ACP:人生会議)と言います

「もしも」のことが起こったらあなたはどのように過ごし
どのような医療やケアを受けたいと思いますか？
あなたが大事にしたいこと、望む生き方について、考えたり
話してみたりすることは、「もしも」のときに、
あなたの望みをかなえる第一歩となるはずです。



ACP「もしもメモ」の利用にあたって

①利用方法	介護保険の会議や入退院時にこのメモをご本人・ご家族、支援者で話し合いをして いただいで共有してください。考えや思いは変わります。そのたびに更新をお願い します。
②保管	お薬手帳等で保管をお願いします。